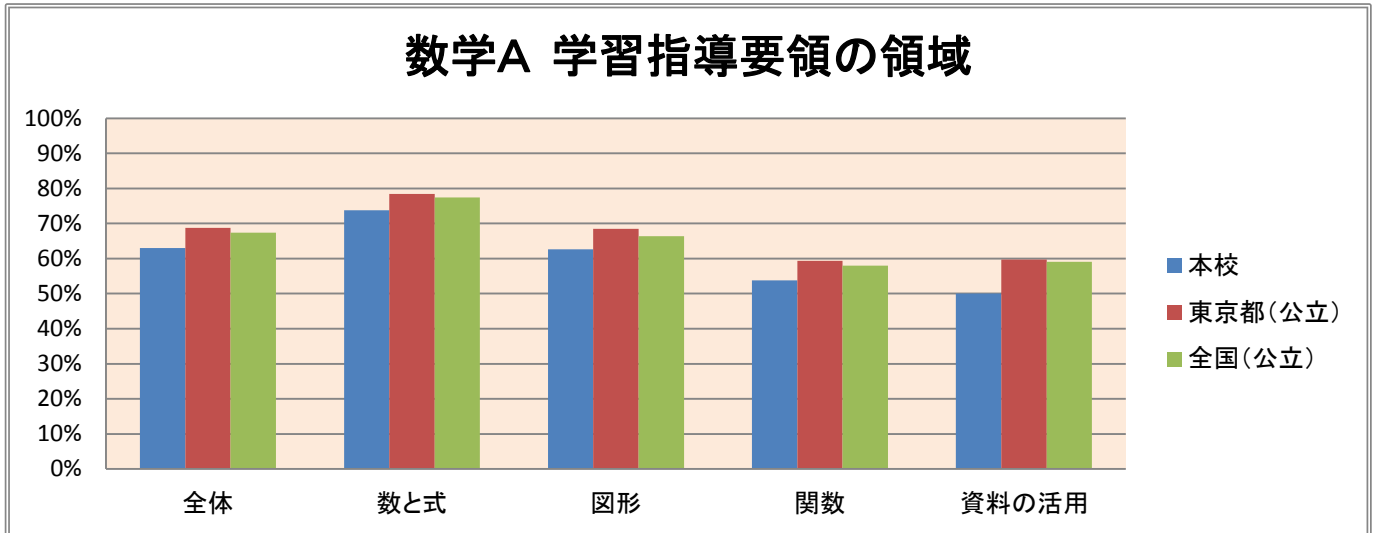


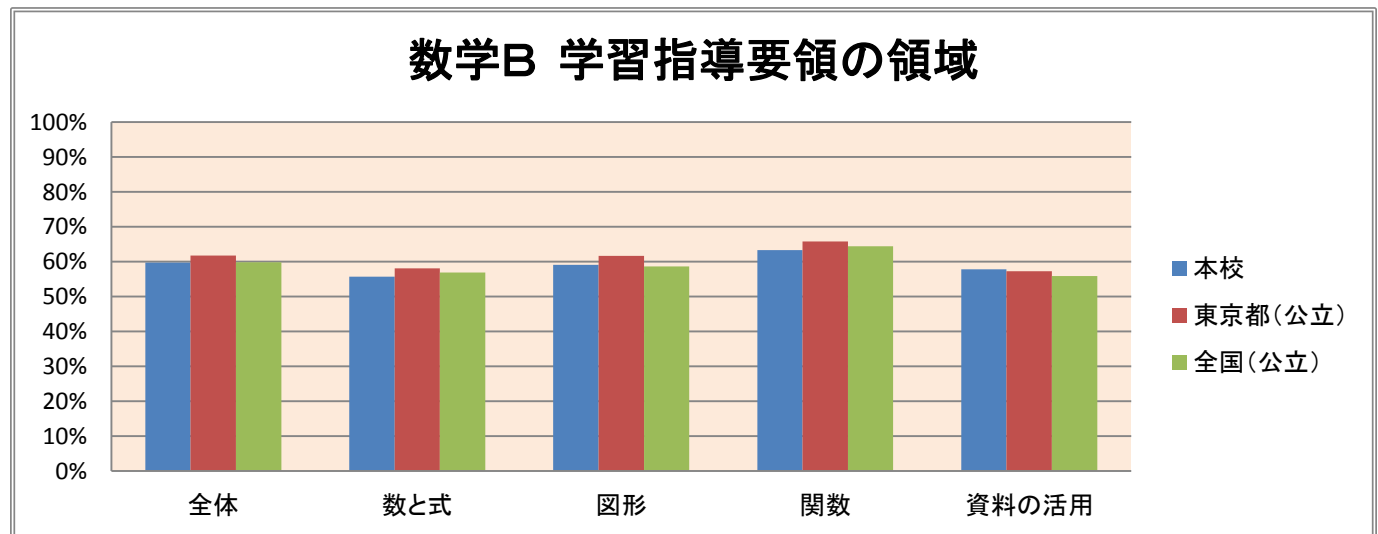
1. 分類ごとの平均正答率

(1)数学A: 主として知識



- ・すべての項目で、東京都平均正答率を下回っている。
- ・特に、「図形」「関数」「資料の活用」が東京都よりも5ポイント低い。
基本的な作図の方法や、図形の移動(平行移動、対称移動、回転移動)について見直す。
比例・反比例の意味や特徴を捉える。
度数分布表から相対度数を求めることができるようにする。

(2)数学B: 主として活用



- ・「資料の活用」が、東京都平均正答率を上回っている。
- ・基礎的・基本的な知識・技能を活用する能力は全国並みといえる。
授業における意欲は高いので、家庭学習習慣を高め、基礎学力伸長に努める

2. 調査問題から見た課題 (つまづいた問題)

【数学A】

(1)数と式

- ①数量の大小関係を不等式に表すことができる
「プールの水の深さは120cm以下である」という数量の関係を表した不等式を書く。 正答率: 33.6%

(2)図形

- ①線分の垂直二等分線の作図の方法について理解している。
与えられた方法で作図される直線について正しい記述を選ぶ。 正答率: 47.0%
- ②図形の回転移動について、移動前と移動後の2つの図形の辺や角の対応を読み解ることができる。
与えられた角が回転移動した後の角を選ぶ。 正答率: 46.3%

③底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について理解している
円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ。

正答率:28.4%

④n角形の内角の和を求める式
 $180^\circ \times (n-2)$ における(n-2)の意味を理解している

n角形の内角の和を求める式について、六角形の内角の和を求める過程を読み、(n-2)が表すものを選ぶ。正答率:38.8%

(3)関数

①関数の意味を理解している

与えられた表を基に、宅配サービスの重量と料金の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する。正答率:31.3%

②比例の関係を式に表すことができる

$x=2, y=6$ の比例の式を求める。

正答率:44.8%

③反比例について、グラフと表を関連付けて理解している
反比例のグラフから表を選ぶ。

正答率:44.8%

③一次関数の変化の割合の意味を理解している

変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ。

正答率:41.0%

(4)資料の活用

①度数分布表から相対度数を求めることができる

生徒60人の通学時間の分布を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める。

正答率:17.2%

②ヒストグラムにおいて、中央値の意味を理解している

ハンドボール投げの記録の分布を表したヒストグラムから、記録の中央値を含む階級を選ぶ。正答率:35.8%

【数学B】

(1)数と式

①予想された事柄が成り立たないことを判断し、その事柄が成り立たない理由を説明することができる
2つの偶数の商についての正しい記述を選び、その理由を説明する。

正答率:42.5%

(2)図形

①図形の性質を、構想を立てて証明することができる

2つの線分の長さが等しいことを証明する。

正答率:37.3%

②付加された条件の下で、証明を振り返って考え、事柄を用いることができる

$\angle BAC=110^\circ$ 、 $BD=AD$ のとき、 $\angle DAE$ の大きさを求める。

正答率:23.9%

(3)資料の活用

①不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる

1点と2点のとりやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する。

正答率:31.3%

②グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明することができる

兄の出発時間を変えないとき、兄の進む様子を表すグラフの両端の2点を求め、そのグラフから兄の速さを求める方法を説明する。

正答率:25.4%